

【評価対象年度 2023年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田中央公園グループ(4施設)		
施設概要	町田中央公園 【所在地】町田市旭町3-20-60【開園年月】1970年12月【開園日時】通年(有料施設は年末年始を除く)【施設面積】31,921.00㎡【施設内容】運動施設(サン町田旭体育館、町田市民球場、町田中央公園テニスコート)、球場管理棟、屋外トイレ棟、遊戯広場、駐車場、ゲートボール場		
	日向山公園(公園区域の一部) 【所在地】町田市本町田3486【開園年月】1971年12月【開園日時】通年(有料施設は年末年始を除く)【施設面積】47,005.66㎡(指定管理範囲は27,145㎡のみ)【施設内容】管理棟、運動施設(藤の台球場)、駐車場		
	忠生公園(有料運動施設のみ) 【所在地】町田市忠生1-3-1【開園年月】1977年3月【開園日時】通年(有料施設は年末年始を除く)【施設面積】81,899.033㎡(指定管理範囲は4,500㎡のみ)【施設内容】運動施設(忠生公園ソフトボール場)		
	木曽山崎公園 【所在地】町田市本町田1966-1【開園年月】1985年10月1日【開園日時】利用予定日のみ開園【施設面積】20,391.60㎡【施設内容】木曽山崎グラウンド、ゲートボール場、トイレ棟		
設置目的	豊かな自然環境を保全し、運動施設を有効活用することによって市民のリラゼーションとスポーツ振興、心身健康維持・増進を図るため。		
設置根拠法令・条例	都市公園法、町田市立公園条例		
所管部課	都市づくり部公園緑地課	問合せ先	042-724-4399
施設ホームページURL	https://www.machida-sp.jp/		

(2)指定管理者

指定管理者名	アシックススポーツファシリティーズ株式会社・東急スポーツシステム株式会社・株式会社協栄共同事業体<まちだA・T・Kスポーツパートナーズ>	法人番号	なし
指定管理者所在地	(代表団体 アシックススポーツファシリティーズ株式会社)兵庫県神戸市中央区港島中町7-1-1		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	運営業務……都市公園の運営、有料施設の貸出し等 維持管理業務……施設の維持管理、園地の維持管理等 自主事業……公園の活性化や利用者サービスの向上に繋がる事業 利用料金の徴収等……券売機の利用料金収納等 その他の事業……各種報告書の作成・提出、事故の対応・報告等		
利用料金制	☐ 該当 ☒ 併用 ☐ 非該当	選考方法	☒ 公募 ☐ 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
トレーニング室のリニューアル、ランニング・ウォーキングステーションの設置	2019年及び2023年	2019年度～2022年度12月で全て達成 (トレーニング室のリニューアル…2019年度) (ランニング・ウォーキングステーションの設置…2022年度)
オリンピック・パラリンピック競技大会競技大会関連事業の実施	2020年	2021年度に達成 2021年3月元オリンピックバレーボール日本代表、桜井由香氏による教室を開催。 2021年度、聖火リレートーチ、五輪関連パネル展示、オリパラ課と協同でイベント開催。
地域団体との連携によるイベントの実施	毎年	地域団体、住民と連携イベント開催。地域防犯見回り、星空観察会、プラネタリウムの実施及び、キッチンカーの設置を行った

3. 昨年度の課題

内容	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、積極的に公園を活用する自主事業等を図り、利用者数、稼働率の向上に努めることが求められる。また、町田中央公園以外の稼働率向上に向けた取組が課題である。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	自主事業については、防犯イベントを兼ねた星空観察会や町田市企業や地域団体、地域住民の方と連携したイベント活動、清掃活動等を実施し、人々の交流の場としての公園利用の促進を図った。 また、町田市内では51年ぶりの開催となる全日本プロレスチャリティー大会を自主事業で開催した。810人の観客を動員したが、大きな混乱なく業務を遂行した。 次期指定管理者に、課題や設備など管理運営の引継ぎも適切に行った。	

【評価対象年度 2023年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	2023年度は指定管理最終年度でもあったため、やり残しがないか、また、次期指定管理期間に向けて何ができるのかということ、書面アンケートではなく利用者と日々の接客の中から内容を精査し、2期目スタートの指針を作成していた。特に多かった事は屋外公園利用に関する要望であり①花壇の手入れ②屋外トイレの清掃③ベンチの追加設置④ご自宅で栽培しきれなくなった草花の受け入れ⑤落ち葉回収後、POPを設置、必要な方に提供。可能なことは躊躇なく実施した。スポーツで人と繋がるだけではなく、人が集う公園のあるべき姿を模索した。
-------------------------------	--

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2023年4月1日～8月31日、2023年10月1日～2024年3月20日 【配布枚数】 195枚 【回収枚数】 183枚 【回収率】 93.8% 【調査方法】 受付、トレーニングルーム室入口、各球場利用時または料金回収時
------	---

指標1	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度 (施設・職員の対応について)	施設利用者アンケートに、「満足」、「やや満足」と答えた割合 A: 90%以上 B: 70%以上90%未満 C: 70%未満		90%	94.4%	A
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	90	90	90	90
実績値	86.5	69.4	82.0	95.9	94.4

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
施設稼働率 (町田中央公園、日向山公園、忠生公園、木曽山崎公園の各有料公園施設の年間施設利用率)	A: 75%以上 B: 55%以上75%未満 C: 55%未満	75%	60.0%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	75	75	75	75	75
実績値	60	60	55.6	72	60

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
自主事業参加人数	A: 33,000人以上 B: 30,000人以上～32999人以下 C: 29,999人以下	33,000人	27,112人	C	
指定期間内における実績(単位:人)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
実績値	31,294	9,199	7,048	20,492	27,112

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	概ね水準どおりである。 指標3「自主事業参加人数」について、結果に対する評価はCであるが、企業や地域との連携を図った自主事業を行うなどし、自主事業参加者が2022年度より増えていることから、サービスの質に関しては、概ね水準どおりであると評価する。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2023年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	条例・規則の遵守	利用時間、休館日・休場日、利用料金は条例・規則を遵守している。	条例・規則を遵守していることを、事業報告書等で確認	適
	有料公園施設の貸し出し	施設案内予約システムの管理運営のルールを厳守している。	施設案内予約システムの管理運営のルールを厳守していることを現地調査にて確認	適
針・施設の管理運営方針	植生管理	仕様書にある作業計画表どおりの管理ができています。	作業計画の確認を行い適切な管理をしていることを事業報告書で確認	適
	施設・設備の維持管理	仕様書にある作業計画表どおりの管理ができています。	作業計画表の確認を行い適切な管理をしていることを事業報告書で確認	適
情報公開・個人情報保護	情報公開の体制	情報公開請求に対する体制が整っている。	情報公開請求に対し適正に対応ができる体制が整っていることを情報公開規程にて確認	適
	個人情報保護	重要書類は保管庫にて施錠管理されている。	重要書類は、保管庫に施錠して管理していることを現地調査にて確認	適
要望対応	要望、苦情の報告	市にすべて報告を行っている。	要望、苦情はすべて市に報告していることを月次報告書で確認	適
	要望、苦情の記録	要望・苦情内容、対応内容を記録している。	要望、苦情は、その対応内容を記録していることを事業報告書で確認	適
危機管理	災害等緊急時の体制	災害時における対応ルールが決められている。	災害時等の緊急時には、緊急連絡網により管理職員の参集体制が確立していることを現地調査にて確認	適
	危険箇所の把握	危険箇所発見に向けた取り組みを行っている。	施設・公園内の巡回により危険箇所の確認を行っていることを事業報告書にて確認	適
人的安定性	人員配置	事業計画書どおりの体制が整っている。	人員配置は計画通りに行われており、状況に合わせて人員調整していることを事業報告書で確認	適
	研修体制	研修会が実施されている。	研修会を実施していることをヒアリングにて確認	適
管理経費の縮減	施設維持費の縮減	施設維持費縮減を実施している。	2023年度は、給排水設備、電気設備等の緊急性と専門性を要する修繕が発生したため、結果として維持費縮減とはならなかったが、軽微な修理については部品等を購入し職員が対応するなど、経費縮減に取り組んでいることを月次・事業報告書にて確認。	適
	光熱水費の縮減	光熱水費縮減を実施している。	利用者の増加等により、年度報告書での光熱水費は増加しているが、巡回等を積極的に行い、節電・節水に努めていることを現地調査にて確認	適
地域貢献	地域交流	地域、関係機関、ボランティア等との交流を行っている。	納涼祭や清掃活動等で、近隣住民、企業、自治会と交流していることを事業報告書にて確認	適
	市内業者の活用	資材調達等を市内の業者から行っている。	ごみ回収業者、施工業者、スポーツショップなどを率先して活用していることを現地調査にて確認	適

【評価対象年度 2023年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年3月8日に町田中央公園管理事務所でモニタリングを実施し、すべての確認項目で「適」であることを確認した	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2024年3月8日に町田中央公園管理事務所でモニタリングを実施し、すべての確認項目で「適」であることを確認した	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、事業報告書、現地調査で確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度		2019		2020		2021		2022		2023	
項目		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	114,556	118,424	113,999	124,565	113,194	144,621	110,932	118,839	112,115	128,902
	利用料金	31,506	35,852	38,895	25,341	33,964	23,375	33,379	29,486	37,927	34,227
	駐車場収入	15,700	15,579	15,948	6,231	15,867	8,299	16,106	12,345	13,600	14,174
	自主事業	21,608	9,816	10,623	4,852	9,560	6,060	11,204	15,690	13,151	21,664
	その他	10	11	10	4	9	23	10	5	15	7
	計	183,380	179,682	179,475	160,993	172,594	182,378	171,631	176,365	176,808	198,974
支出	人件費	89,122	86,849	90,012	84,113	87,148	78,970	80,000	83,738	85,284	82,049
	維持管理経費	87,027	87,422	81,492	73,110	74,671	108,970	75,636	85,278	76,259	91,196
	自主事業	7,231	3,690	5,173	5,595	8,690	2,833	8,403	9,544	8,363	11,591
	計	183,380	177,961	176,677	162,818	170,509	190,773	164,039	178,560	169,906	184,836
総計(収入-支出)		0	1,721	2,798	-1,825	2,085	-8,395	7,592	-2,195	6,902	14,138

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	1.2	-16.6	-15.5	-15.7	-18.7
負債比率	93.9	147.0	-319.7	-160.8	-139.7

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。 指定管理料が、予算に比べ決算で増加しているが、緊急修繕などの指定管理業務追加と光熱水費の高騰に対応したものである。